
どうしてこうなった？

T・k

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どうしてこうなった？

【Nコード】

N6787X

【作者名】

T・k

【あらすじ】

ヌコをかばったらいつの間にかしんでたよ
これからどうしよう？

何でこうなった？ (前書き)

とりあえず書いていこうと思います

何でこうなった？

レウスに跳ねられすぐはつき……違いますからね
とある人が：多分どこでもいるような人ですよ？

がたまたま飛び出したヌコをかばって車に跳ねられてポックリ逝っ
ちやいました

そして何故か転生したのがモンスターだらけのハンターの世界？

そんな感じで話が進めて行きたいと思います

初めての作品なのでいろいろとおかしな所があると思いますがどう
かお許しを！！ついでにオリジナルな所も含みますのでご了承を

それじゃ話を進めて行きたいとおもいます！！

へ

たまたまネコがとおりかかるのを見てた
たまたまネコがひかれそうになった
たまたまネコをかばってひかれた

「これ何ていう偶然？」

「面白い位の偶然だねwww」

「ん？あんた誰？」

「オレは神様だよ
マイネームイズゴッド」

「あんたが神様なんだ」

「そうだよ」

早く話を進めろよ…

「天の声が進めろっていうから話を進めるよ」

「話って何？」

「え」とね、君は善行を一定より積んだから転生出来るんだよ」

「へ」

「まあ、転生って言っても元いた世界に生まれかわる訳じゃないよ」

「え？どういう事？」

「つまり違う世界で別の生き方をすると言うことだよ」

「なるほど」

「それで転生するか天国に逝くか」

「天国ってどんな所なの？」

「天国はねー…君が生きていた世界に近い所だよ」

「じゃあ転生がいいな」

「はいよー…おまけ付けといてあげるよ」

「おまけ？まあとりあえずありがとな」

「こちらこそ」

困った事があったら呼んでね

それじゃ転生させるからそのベッドに寝ててね」

振り向くとなんかベッドあるし、しかもかなり大きいサイズ
とりあえず言われた通り寝てみた

「はい、それじゃ目を閉じて
アイン、ツバアイ、ドライだったような気がする」

へ

ある村で子供が生まれた

生まれた子供は親から名を貰う前に全てを失った

それは偶然でしか無かった

たまたまあるハンターが古龍と戦っていた

古龍は傷つき逃げ出したがハンターは諦めず追い掛けた

そしてたまたま近くにあった村が襲われた

ハンターが着いた頃には村は崩壊していた

そしてハンターは古龍を倒して村に帰る途中で子供を拾った

ハンターはその後、狩りを辞めた

それから十年後、拾われた少年はと言うと・・・まあとりあえず元気に育ちました。

え、十年間誰に育てられたかって？

もちろんあのハンターさんが育てましたよ

とりあえず（前書き）

書き方がわかりませんよ（泣）
とりあえずごめんなさい

とりあえず

「なんか解説えらく適当だな」

「?…誰と話してる?」

「あゝなんでもないですよ」

俺が産まれてから十年の月日がたった
なんというかこの十年間の中で産まれてから数年はとても辛かった
飯だって一人で食べられなかったし、トイレは……とても死にたか
った

『もういっぺんしんでみる?』

ああ、なんという、能登さん
じゃなくて神様

話がそれたみたいだから元に戻すが、身の回りの事が一人でできる
まではとても大変だった
身の回りの事が出来るようになってからはというと暇を持て余した
神々のように退屈だった

それで今に至るといわけだよ
今はハンターさん…もとい母さんと一緒に飯食べてる最中なんです
よゝ

いやーうちの母さんすごい美人だよゝ
胸はないけど色白で身長はまだ俺の方が低いけど後1位すれば俺と
同じ位だろうな
凄いいハンターだったらしいけど…どうみたって大剣持てるようには
見えないな

一応倉庫にマスターブレイズがあつたけど…持てるわけないよね

「ごちそうさまでした」

「お粗末さまでした」

あゝ今日も1日暇つぶ「大変だああ……!!」

なんだ？

気になったので外をみると

「リオレイアとリオレウス？」

何故いる！？

しかも亜種だよ

あ、何人かハンターが出て来た

でも皆さん、その装備じゃちょっと…

どうみても勝ち目ないな

「ナナシ、逃げて」

あ、母さん…何で大剣持てんの！？…しかも片手で!!

「早く逃げてね」

あゝ行っちゃった

とりあえず逃げますか

チラッと後ろを見たがレイアさん御愁傷様です

あれ？レウスさんはどこ行っグボラバア

「ナナシ：ナナシ：」

母さん：そんな顔しないでよ
それにしても痛いな
切れちゃいそうだよ

鬼人化発動！！

あゝばれゝましょ

アヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤ

殴って蹴ってひきちぎる

おまけに尻尾もひきちぎる

少年暴走中ゝ

気がつくとも回りが真っ赤だったよ
いやー、怖いねゝ
これがあれか若さゆえの過ちか

「おゝい、坊主大丈夫かゝ？」

あゝハンターのオッチャンくるの遅いよゝ

「なんか片ずいちまってるんだが：」

「皆片ずいた」

「おゝ天使ちゃん、ってかその大剣久しぶりに見たなゝ」

「十年ぶり」

「そんな昔だったか、いやー、十年ぶりに見ても不思議でしょうがねえ」

「ですよー」

あゝ、体が痛いゝ

「ナナシ、大丈夫？」

「気づくの遅いよ、母さん!!」
ピュー

あ、血があゝ

ボタン

「衛生兵!! じゃなかった救護班!! でもなかった誰かああ!!」

…結局それかよ

薄れゆく意識の中で最後に思ったのがそれでした

とりあえず（後書き）

書き方がやっぱりわかりませんよ

とりあえず意見、誤字、修正する場所などあったらどしどし送って
下さいませ

とりあえず」

こにゃにゃちはー

いやー、レウスとレイア襲撃から一週間経ちましたが俺の体一向よ
くならないんですよ」

レウスの突進ほぼ裸で食らうと痛いんだね」

でも流石モンハンの世界

レウスの突進食らっても足の骨折、ふくらはぎのだんれつ、背骨が
ほぼ骨折、肺に何本か骨が刺さっていたり折れてたり、肩は脱臼と
骨折でもちろん筋肉はボロボロ、後はその他もろもろの臓器が損傷、
背中の肉が見えてるような状態だったけど古の秘薬を使い何とか一
命をとりとげた。

よく死ななかったな：

その後、神様がオマケをくれたんだが：

「ごめんね、最初から渡しとけば良かったね」(笑)」

「そうですよねー」(笑)
おかげで体半端なく痛いですよー」

「ごめん」(よ) (@。▽。@)
とりあえずはいこれー」

そういつて渡されたのが

「携帯と紙？」

「そう携帯♪」

「これでどうしろと？」

「とりあえずその紙に書いてある番号を入力してみて」

言われた通りに入力してみるとおー

「え？体が治った？」

「それ全快のチート
次のやってみる」

言われた通り次のをやってみると

「何も起こらないんだが？」

「ポケットの中に入っていない？」

「はい？」

とりあえずガサゴソ探してみると

何・か・あ・る・な…

とりあえず取り出してみると、なんと！！

「AK-47？」

しくみになってるんだよ」

「危な！？めっちゃ危な！！」

「人生に危険はつきものさ」

「なんというワイルド…」

「とりあえず携帯にはこんだけ入れとけば大丈夫だね、後は君の体にどーん」

「ぎゃあああああああ」

普通に吹っ飛ばされた

吹っ飛ばされた先が何にもないから地面にキスをするはめになったよ

「これでいろいろと便利になったよ」

「い、いろいろって何…」

「そのうちわかるよ」

「さいですか…」

「じゃあおやすみ」

「おやすみ」

という夢をみた

起きたらポケットの中に携帯があつた
夢じゃなかったああ!!!!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6787x/>

どうしてこうなった？

2011年11月24日22時56分発行